

科目名	歴史総合	単位数	2 単位	
学科・学年・コース	農業 3 年 全コース	予定時数	7 0	
学習目標				
・世界と日本の歴史を広く相互的な視野から捉え、近現代史の歴史を理解することができる。				
・歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究解決する態度を養う。				
・世界の中の日本を意識し、日本が世界の中で果たす役割を歴史的観点から考察することができる。				
学 習 内 容				
【1 学期】 諸地域世界の形成・歴史の扉・近代化への問い 1 結びつく世界 ・アジア諸地域の繁栄と日本 ・ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出 2 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ・アメリカ独立革命とフランス革命 ・19 世紀のヨーロッパ ・ 19 世紀のアメリカ大陸 ・西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ・中国の開港と日本の開国 3 明治維新と日本の立憲体制 ・明治維新と諸改革 ・ 明治初期の対外関係 ・自由民権運動と立憲体制 【2 学期】 4 帝国主義の展開とアジア ・条約改正と日清戦争 ・ 日本の産業革命と教育 ・帝国主義と列強の展開 ・ 世界分割と列強の対立 ・日露戦争とその影響 5 第一次世界大戦と大衆社会 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・国際平和と安全保障		・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・大衆消費社会と市民生活の変容 ・社会労働運動の進展と大衆の政治参加 6 経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌の発生と各国の対応 ・ファシズムの台頭 ・ 日本の恐慌と満州事変 ・日中戦争と国内外の動き ・第二次世界大戦と太平洋戦争 7 戦後の国際秩序と日本の改革 ・新たな国際秩序と冷戦の始まり ・アジア諸地域の独立 ・ 占領下の日本と民主化 ・占領政策の転換と日本の独立 【3 学期】 8 冷戦と世界経済 ・集団防衛体制と核開発 ・ 米ソ両大国と平和共存 ・西ヨーロッパの経済復興 ・ 第三世界の連携と試練 ・55 年体制の成立 ・ 日本の高度経済成長 ・核戦争の恐怖から軍縮へ ・ 世界経済の転換 9 グローバル化する世界 ・冷戦の終結と国際情勢 ・発展途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化 ・ 国際社会の中の日本		
教科書	歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）			
副教材	問いからはじまる歴史総合（とうほう）			
学習評価				
1 知識・技能 ・世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている				
2 思考・判断・表現 ・概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて考察できる ・考察、構想したことを効果的に説明し、それらをもとに議論する力を養う				
3 主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う ・多面的多角的な深い理解を通して、互いの文化を尊重することの大切さについての自覚を深める				
評 価 基 準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
知 識 ・ 理 解	◎	○	○	60%
課 題 ・ 発 表	○	◎	◎	30%
学習姿勢・意欲	○	○	◎	10%